



平成 29 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社エイチーム
代 表 者 名 代表取締役社長 林 高生
(コード番号：3662)
問 合 せ 先 執行役員 社長室長 光岡 昭典
(TEL. 052-747-5573)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 9 月 9 日に公表いたしました平成 29 年 7 月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成 29 年 7 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	32,000	3,300	3,250	2,150	113.74
今回修正予想 (B)	34,000	3,800	3,830	2,500	132.24
増減額 (B-A)	2,000	500	580	350	
増減率 (%)	6.3	15.2	17.8	16.3	
(ご参考) 平成 28 年 7 月期通期実績	22,967	2,212	2,094	1,292	68.58

2. 修正の理由

エンターテインメント事業におきまして、平成 28 年 6 月にリリースした至高のハイファンタジーRPG「ヴァルキリーコネクト」、平成 26 年 12 月にリリースした新感覚リアルタイム RPG「ユニゾンリーグ」等の既存タイトルが好調に推移し、売上・利益ともに計画を上回る推移となりました。しかし、平成 28 年 12 月にリリースした覚醒少女バトル RPG「放課後ガールズライブ」が低調につき、売上が期初計画を下回り、広告宣伝費は一部未消化となりました。結果、売上がほぼ予想通り、営業利益は期初予想を大幅に上回る着地となる見込みであります。

ライフスタイルサポート事業については、売上・利益ともに期初予想を大幅に上回る見通しであります。サブセグメント事業別では、引越し関連・自動車関連・金融メディアが予想を上回る推移となりました。

EC 事業については、売上は期初予想を上回る着地となる見込みであります。広告投資等の費用が期初計画をやや上回り、営業利益は期初予想をやや下回る着地となる見込みであります。

また、全社共通部門において、期初計画の費用が一部未消化となり、全体として売上・営業利益ともに期初予想を上回る推移となりました。

経常利益については、期初予想では為替差損を見込んでおりましたが、為替差益に転じる見込みであります。これは主にエンターテインメント事業の海外売上によるものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、当第3四半期までの実績に基づき、予想数値を算出しております。以上を踏まえ、平成29年7月期通期連結業績予想数値を上記の通り修正いたしました。

なお、通期連結業績につきましては、エンターテインメント事業の売上・利益を予測することが困難なことなど、事前に予測不可能な内外的要因等の不確定要素により、信憑性の高い業績予想数値を算出することが極めて困難であり、依然として変動要因が存在すると推測しております。今後、業績見通しが予想からさらに乖離する見込みが生じた場合には、速やかに公表いたします。

(注記事項)

上記の業績予想数値は本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

● 配当予想の修正について

1. 平成28年7月期期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年9月9日発表)	5円00銭	15円00銭	20円00銭
今回修正予想		22円00銭	27円00銭
当期実績	5円00銭		
前期実績 (平成28年7月期)	5円00銭	7円50銭	12円50銭

2. 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化を目指しつつ、20%前後の配当性向で継続還元を行うことを基本方針としております。

平成28年9月9日に公表の配当予想は期初の業績予想に基づき算定しておりましたが、業績予想の修正に伴い、株主還元方針に基づき、期末配当を1株当たり22円00銭とすることといたしました。

今後も上記の基本方針に従い、株主の皆様に対する適切な利益還元策を都度検討してまいります。

以 上